

2017年 11月 5日 《子供祝福式・誕生祝福式》

主 日 礼 拜

① 8時半～

② 10時半～

③夜7時～

司 会

①石井師

②石井 秀人兄

③石井師

奏樂

①石井師

②村山けい子姉

③石井師

贊美

聖歌 530 番 & 「全世界に出て行き」

主の祈り

聖書

①詩篇46篇1～5節

②ヨハネによる福音書18章1～9節

特別贊美

アサリオンDX

メッセージ

①「結び目をとくキリスト者たち」坪井永城牧師

②「主イエス様の權威」石井 潤牧師

献 金

讚美歌312番 & 「慕い求めます/感謝の心」

祝 禱

[献金当番：渡辺姉・寺澤千姉]

お知らせ

【司会者】

贊美

「海と空」 〔子ども祝福式〕

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

1. 本日昼食後1時～、ヤングチャペルと聖書の学び会が行われます。
2. 今週の祈り会:①月曜朝6時～、早天祈祷会。②木曜午前10時半～、夜7時半～、丸藤剛介伝道師(大和祈祷会映像)。④土曜夜8時～、準備祈祷会。
3. 来週日曜礼拝では聖餐式(大切に!!)。午後は執事会を行います。

11/16(木):大手家庭集会 19(日):大掃除 26(日):聖歌隊

27(月):長野家庭集会 30(木):WOGA 集会(ボーマン・ルリ子師)

[illegible]

「主イエス様の権威」

～永遠の勝利を信じることができる恵み～

「イエスはご自分の身に起こることをすべてご存じだったので、前に進み出て人々を迎えました。裏切り者のユダもいっしょでした。『だれを捜しているのですか。』『ナザレのイエス!』『わたしがイエスです。』このイエスのことばに、人々はみな息をのんであとずさり、ばたばたと倒れました。イエスはもう一度お尋ねになりました。『だれを捜しているのですか。』『ナザレのイエスを。』『わたしがそうだと断言してはいませんか。目当てがこのわたしなら、ほかの者は関係ありません。このまま帰らせてあげなさい。』」ヨハネによる福音書18章4～8節〔リビングバイブル〕

17章で弟子たちが一つであるようにという大切なお祈りをなさってから、18章に入って主イエス様は弟子たちを連れて、オリーブ山にあるゲッセマネの園に向いました。そこで悪魔との格闘のお祈りをなさいました。

そして、天から授けられた御力に満たされて、ユダに連れられてやってきた一隊の兵たちと、宗教指導者たちから送られて来た者たちに対して毅然と立ち向かわれました。そこには微塵の恐怖も、不安もありませんでした。

しかし、弟子たちには上からの確信がありませんでしたから、恐怖に満ちて、弟子の代表者であるペテロは剣を持って立ち向かってしまいました。その後、イエス様は捕らえられて引っ張っていかれました。どうしてもなく、隠れて後を付けたペテロでしたが、人々に尋問されて、思わず、主を否定してしまいました。それは、仕方のないことでした。すべての弟子たちはこの時点では何の力も与えられていませんでした。だから、皆恐れと不安に満たされて過ごしていたことでしょう。

先週日曜日の午後は皆で映画「沈黙」を観ました。当時日本に命懸けでやってきた宣教師と日本で命懸けの信仰を守り続けていたキリシタンの人々の信仰。そして、この世界を書き上げた遠藤周作の思い。そして、それに感銘を受けて映画として制作したマーティン・スコセッシ監督の思いが詰まっていた作品。その時代、その場所にイエス様がおられて、痛み苦しんでいた宣教師やキリシタンたちをご覧になっていたら、どのようになさったでしょうか？

イエス様が十字架にかけられた時の弟子たちと、あの「沈黙」の場面のキリシタンたちとではその信仰は全く違っていたでしょう。あの苦しみを受けたキリシタンたちには復活の信仰がありました。死は終わりではない。その死の向こうには神の栄光に輝いた復活の世界があると信じていました。だから彼らにとっては死は恐怖であっても、その向こうには永遠の希望があることを信じていました。だからあの時、神は黙っておられたのだと理解することができるのです。